

<議論の進め方について>

- 病床配分もない圏域なので、連携についての議論自体が煮詰まっているように感じる。（区中央部）
- 区西部と区西北部の会議に出席して、杉並と練馬では状況が似ていると感じた。圏域に捕らわれず一緒に会議を行ってもよいのではないか。（区西部）
- 個別病院としての意見を離れて、地域全体を俯瞰した目線で議論ができるので、グループワークという手法はよいと思う。（区西北部）

<病床配分について>

- 申請者によって、調整会議での説明が事前の地区医師会への説明と異なることがあった。（区東部）
- 医師会との事前調整をちゃんとできていない申請者がいた。きちんとした説明、了解のもと調整会議で議論する仕組みが必要。（北多摩北部）
- 地区医師会という組織に機動力があるわけではないので、余裕を持った事前調整が必要。（区東部）

<定量的な基準について>

- 定量的な基準が出て、急性期病院の一部で回復期相当の医療を提供していることがわかったとしても、病床機能報告上、急性期の病院はその看板を下ろしにくいのではないか。（区西北部）

<その他>

- 疾病単位の患者動向の把握等、ビッグデータを用いて地域の特性を数値として見える化できないか。地域のなかで、どういった専門科や専門医、医療機能が必要か把握するのに役立つ。（北多摩北部）